環境経営レポート

エコアクション21

（活動期間　令和6年 10月～令和7年 9月　）

MarumiConstruction

マルミ建設株式会社

作成日　　令和7年　12月　26日

目次

1　事業所概要

2　環境経営方針

3　環境経営の実施体制

4　環境経営目標

5　環境経営計画

(1)取組結果とその評価

(2)次年度の取組内容

6　環境経営目標の実績

7　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8　代表者による全体の評価と見直しの結果

1.事業所概要

事業所及び代表者名	マルミ建設株式会社 代表取締役　佐藤長巳
所在地　本社・資材置場	〒421-0113 静岡県静岡市駿河区下川原3-32-34
東部事業所	〒411-0832 静岡県三島市南二日町3-17 パンヴィラージュ17-102
連絡先	TEL　054-258-3147 FAX　054-257-2896
資本金	2000万円
売上高	7億　56百万円(令和6年度)
従業員	16人(令和7年度)
環境管理責任者	小澤俊明
許可の内容	特定建設業許可 静岡県知事　特-1　第7474号 ・土木、とび・土工、舗装、水道施設、解体 (令和6年9月25日～令和11年9月24日) 一般建設業 静岡県知事　般-1　第7474号 ・建築　　管工事 (令和6年9月25日～令和11年9月24日) 産業廃棄物収集運搬業 第02201198532号 (令和4年12月20日～令和9年12月19日) 廃プラ、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず 収集の実績なし　(認証登録対象外)
対象事業活動	特定建設業(土木、とび・土工、舗装、造園、水道施設工事) 及び一般建設業(建築、管工事業)
事務所床面積	356m2
事業年度	10月～翌年9月
対象範囲	本社・資材置場 東部事業所

2.環境経営方針

企業理念

社会貢献

社訓

創意工夫

（高質な仕事を提供する）

危機管理

（不測の事態をなくす）

本質着眼

（物事の判断を誤らない）

基本理念

マルミ建設株式会社は、建設事業を営むに伴い環境保全への取り組みを積極的に行い、継続的な環境負荷削減に社員全員で取り組みます。

行動方針

下記の事項に目標を設定し、環境経営の継続的な改善に努めます。

1 地球環境保全のため、二酸化炭素排出量削減に努めます。

2 廃棄物の削減に努めます。

3 環境関連の法規等を遵守します。

4 社員に環境に関しての教育を行い、環境に優しい施工・作業を促進します。

5 事務用品のグリーン購入を促進します。

6 環境整備ボランティア活動を行います。

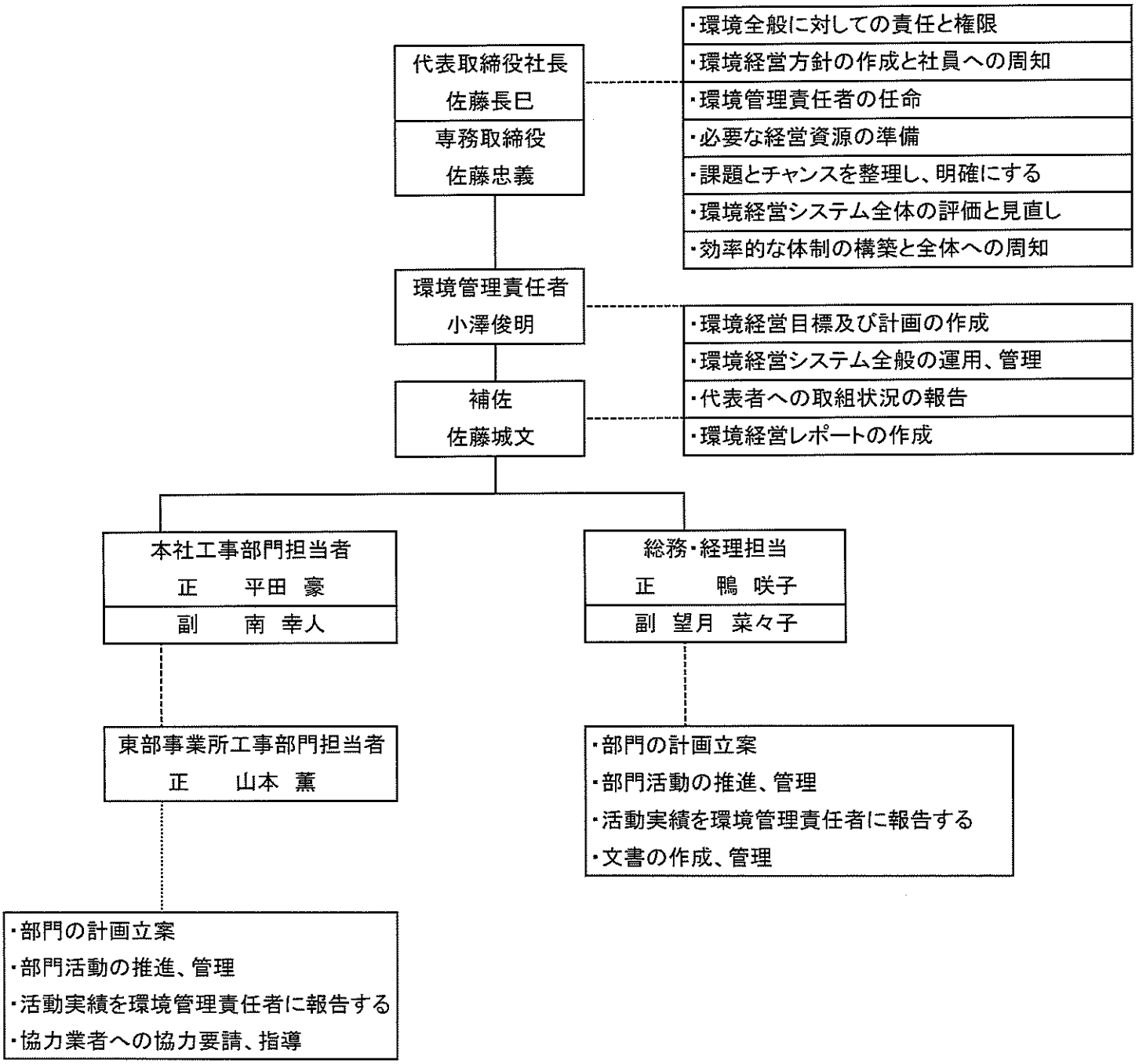
7 水の使用量を減らし、節水に努めます。

改訂　　令和4年6月1日

マルミ建設株式会社

代表取締役　佐藤長巳

3.環境経営の実施体制　令和6年10月1日～



4.環境経営目標

電力のCO2排出係数
（中部電力　0.459kg-CO2/kWh）
（東京電力　0.421kg-CO2/kWh）を使用
（10月～翌年9月）

項目	単位	令和5年度（基準）	令和6年度目標（基準前年比）	令和7年度目標（基準前年比）	令和8年度目標（基準前年比）
二酸化炭素排出量	kg-CO2	35,821.19	35,462.98	35,108.35	34,757.26
目標(前年比)	%	0.00	-1.00	-2.00	-3.00
電気	kWh	17,373.19	17,199.46	17,027.46	16,857.19
ガソリン	L	10,868.53	10,759.84	10,652.25	10,545.72
軽油	L	371.53	367.81	364.14	360.50
産業廃棄物	t	1,264.83	1,252.18	1,239.66	1,227.26
一般廃棄物	t	0.485	0.480	0.475	0.471
水使用量	㎥	200.000	198.000	196.020	194.060
環境配慮工事の提案	件	3.000	3.000	3.000	4.000

調査した結果、化学物質は使用していない為目標値は、設定しません。

5.環境経営計画

(1).取組結果とその評価　　令和7年度

取組内容		具体的な活動内容	実施部門	実施期間	チェック	次年度の取り組み
二酸化炭素排出量削減	1.電気使用量の削減	・こまめな消灯の徹底 ・外出時の消灯及び席不在の消灯	事務所	10月1日より	○	継続
		・エアコン温度の適正管理をする	事務所	10月1日より	○	継続
		・エアコンフィルターの清掃をする	事務所	年末に清掃業者によって実施	○	継続
		・OA機器の待機電力の削減	事務所	10月1日より	○	継続
	2.3.車両・建設機械の燃料使用量の削減	・アイドリングストップの徹底	工事部	10月1日より	○	継続
		・急発進、急ブレーキの禁止	工事部	10月1日より	○	継続
		・タイヤの空気圧チェック	工事部	各自、給油や車検により確認	○	継続
		・エンジンブレーキの積極使用	工事部	10月1日より	○	継続
		・現場への通勤車両の乗合わせ	工事部	10月1日より	○	継続
4.産業廃棄物の削減		・分別廃棄に努める	事務所 工事部	10月1日より	○	継続
5.一般廃棄物の削減		・減量化に努める	事務所	10月1日より	○	継続
6.グリーン購入の促進		・古紙使用率の高い再生紙の使用	事務所	10月1日より	○	継続
7.環境ボランティア活動		・年3回の地域清掃	工事部	4月・8月・12月	○	継続
8.節水の取り組み		・使用量を減らし、節水に努める	事務所 工事部	10月1日より	○	継続

(2).次年度の取組内容　　○取組達成　×取組未達成　△進行中

消費電力の少ない電気製品に変更するなど、節電に努める。
引き続き社用車を低燃費車両に変更するなどの処置を講ずる。
節水の取り組みを推進していく。

6.環境目標の実績

電力のCO2排出係数
（中部電力　0.459kg-CO2/kWh）
（東京電力　0.421kg-CO2/kWh）を使用
（10月～翌年9月）

				前期				
項目	単位	令和5年度（基準）	令和7年度目標（基準前年比）	目標 R6.10～R7.3	実績 R6.10～R7.3	令和7年度実績	結果	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	35,821.19	35,104.77	17,552.38	17,263.79	34,527.58	◎	継続する
目標(前年比)	%	0.00	-2.00	-1.00	-2.00	-4.00	◎	継続する
電気	kWh	17,373.19	17,025.73	8,512.86	9,236.00	18,472.00	×	改善する
ガソリン	L	10,868.53	10,651.16	5,325.58	5,303.75	10,607.49	◎	継続する
軽油	L	371.53	364.10	182.05	224.67	449.34	×	改善する
産業廃棄物	t	1,264.83	1,239.53	619.77	182.32	364.63	◎	継続する
一般廃棄物	t	0.485	0.475	0.24	247.50	495.000	×	改善する
水使用量	㎥	200.000	196.000	98.00	112.00	224.000	×	改善する
環境配慮工事の提案	件	3.000	3.000	2.000	1.00	3.000	◎	継続する

	◎達成	○達成率50%以上100%未満	△達成率50%以下	×未達成
前年度比率	(-1%以上)	(-0.5%以上-1%以下)	(-0.5%以下)	(+0.1%以上)

目標全体の評価

・各工事現場での環境に配慮した工事の推進を目指していく。

・建設業として、環境経営メリットにつながるエコアクション21の取り組みを目指していく。

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法令の名称	対応・遵守状況	確認日	評価	確認責任者
廃棄物及び清掃に関する法律 (静岡県の環境条例)	・ゴミの適正な分別 ・適切な処理委託契約の締結、委託契約先の確認 ・マニフェスト伝票の管理、5年間保管、報告 ・産業廃棄物収集運搬業の許可の更新	10月1日	○	小澤
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	・適切な分別解体・再資源化 ・分別解体等の計画届出書提出	10月1日	○	小澤
環境基本法	・温室効果ガスの排出量の削減	10月1日	○	小澤
家電リサイクル法	・電気工事店等へ料金を支払い、違反のないよう行動する (対象品目:エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機等) ・リサイクル券を保管する	10月1日	○	小澤
騒音規制法	・杭打機、削岩機、空気圧縮機等使用する作業では、特定建設作業の実施届出書作成提出	対象無し		
振動規制法	・杭打機、削岩機、空気圧縮機等使用する作業では、特定建設作業の実施届出書作成提出	対象無し		
グリーン購入法	・物品購入等に関して、出来る限り環境物品等を選択する ・再生品、エコマーク製品又は、同等品を優先的に購入	10月1日	○	小澤
フロン排出抑制法	・エアコン(第一種特定製品)の、3ヶ月毎の簡易点検	3ヶ月毎に実施	○	小澤

1) 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に関連する環境関連法規の遵守状況を点検した結果、違反はありませんでした。

2) 違反・訴訟等の有無

関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

(1)全体評価　　工事件数が前年度より増えたため、軽油の使用量は上がってしまった。

ガソリンは前年度より使用量が減った。

電気は使用量が増えたが、排出係数の不備を修正したため、Co2排出量は減少した。

東部事業所を含め、節電等でCo2削減に努めていきたい。

(2)見直しの結果

見直し項目	変更の有無	有りの場合の指示事項等
環境経営方針	無	
環境経営の実施体制	無	
環境経営目標	有	節電、節水の意識を高く持ち、努力していく
環境経営計画	有	社員に節電、節水の意識を徹底させていく
その他のシステム要素	有	今後も社有車の低燃費車への変更を進めていく

見直し日　令和7年12月27日

マルミ建設株式会社

代表取締役　佐藤長巳